

第5章 現役生徒の部活動

母校80周年特別号として、初めて？久々？に現役生徒の部活動の状況を執筆していただき掲載します。皆様の千葉工業での部活を思い出してはいかがでしょうか
執筆者の生徒、教職員の皆さまご協力ありがとうございました。 同窓会本部役員・編集委員一同

ラグビー部

亀井 翼 電子機械科(EM) 3年A組

僕が千葉工業ラグビー部に入部して良かったことは、とても多くの人と仲間になれたことです。一年生の頃から他のクラスの人や先輩たちと一緒に練習をして今では一生の仲間だと思っています。さらに、二年生の時は合同チームとして他の学校のラグビー部の人達と練習をし、試合をしました。一緒に合宿をしました。そして良い仲間になれたと思います。

千葉工業として試合に出たいという目標がありました。春から、一年生のおかげでそれが叶いました。最後の大会では、決勝トーナメントに出場できました。とても良い思い出です。ほかに、それに負けない位楽しい思い出がたくさんあります。

ですが、楽しいだけではなく大変なこともありました。進路活動との両立や、春から新チームとして戦い方など三年生メンバーのプレッシャーは大きかったと思います。僕も部長としてどうチームをまとめていかなければいけないか、悩んだことがありました。

しかし、僕が頼りない分、2、3年生一人一人が高い意識をもっていてくれたことを知っています。

なので、今のラグビー部のみんなには、一人一人意識を持って助け合って楽しく続けてほしいと思います。

陸上競技部

金井 健太 電子機械科(EM) 3年B組



私は、陸上競技部に入部していろいろな経験をしました。長距離に所属し二時間のペース走やインターバルなど日々厳しい練習をしてきました。それにより忍耐力や持久力が身につきました。

また、部長として様々な経験をしました。部員のことを考えまとめることや、先生からの情報を部員に伝えることなど自分のこと以外でも気を配らなくてはいけないので苦労しました。

後輩には、部活で忙しく練習で疲れていても授業や実習のレポートにも部活と同様に頑張してほしいです。そういった積み重ねが自分自身の選択肢も増え、将

来の幅が広がります。

普段の学校生活や部活でも一日一日を大切にしてい目標をもって過ごし、自分が納得できる終わり方ができ、悔いが無いように残りの学校生活や部活を頑張りたいです。

サッカー部

部長 宇野 雄太 工業化学科(C) 3年

私が部活動を3年間続ける中で、苦労したことはチームをまとめることです。チーム全体に目を向け、チームのために声を出し、雰囲気づくりに努めるなど大変なことも多かったです。しかし、みんなのお手本になろうと何ごとにも率先して取り組む中で、少しずつチームのまとまりを感じられるようになっていきました。そうして迎えた公式戦では、県大会に出場することができました。十数年ぶりの県大会出場がとても嬉しかったです。これまでの努力が報われ、サッカー部に入部し3年間続けて良かったと思いました。

サッカーは、個人の種目ではなくチームスポーツなので、チーム全体で頑張らなくては勝利を勝ち取ることのできないスポーツだと私は学びました。後輩たちには、一人一人がお互いを大切にし、辛いときは励ましあっていくことで、部活動を続けて良かったと思えるような3年間にしていってほしいです。

体操部

副部長 寺嶋 健太 電気科(E) 3年A組

私は体操部に所属していました。入部して良かったことは、耐力がついたことです。筋肉がついた、技ができるようになったなど色々ありますが、それは体操をやる上での事で人としての力となるとやはり忍耐力だと思います。また、技を覚えるときに、間違えた形で覚えるのではなく、正しい形で何度も練習していくことで体を慣れさせていく事もこれからの生活に活かされてくるのではないかと思います。



苦勞したことは、苦手な動きの技を覚えることです。私は「ひねり」が苦手な床のひねる技では苦勞しました。支持力が弱く、倒立も弱いことも影響し、平行棒、吊り輪も苦手としていました。しかし、それを補うように補強をしていき少しでも強くなるように頑張りました。またできるようになっても安定するまで長かったりと、苦勞したことはとても多かったです。

後輩へ伝えたいことは、自分に合った技を見つけて欲しいです。それについて研究をして欲しいです。人によってやり方は様々なのでその中から自分に合ったやり方を見つけて欲しいです。技によってかかる時間は違いますが、諦めずに頑張っていて欲しいです。また毎日目標を持って練習して欲しいです。前に先生に「技ができなくて、立てなくて、でもつま先は伸びていた。目標がつま先を伸ばすならこれは達成されたことになる。」と言われました。小さいことでもいいので毎日目標を持って練習していく方がいい練習になると思います。

体操は個人種目ですが練習するときは部員全員が「チーム」です。仲間同士互いを高め合っているように助け合い、共に上達できるようにこれからも頑張っていて欲しいです。

野 球 部

主将 和田 健一 電気科(E) 2年A組

私が野球部に入って苦勞した点は、仲間内で意見が噛み合わなかったりしたことです。大きな集団を同じ一つの目標に向かわせるというのが、個々に意識の差があるので苦勞します。しかし、皆全員が同じ方向を向かないとチームは強くなれないので、全員で同じ方向を向いて頑張っています。

私は野球部を通して、仲間の大切さを学ぶことができました。辛く苦しい練習でも、隣には必ず仲間がいてくれるから数々の壁を乗り越えてこられました。同じ時間を共有してきたからこそ仲間内で厳しいことを言い合えることができます。そんな大事な仲間との時間を大切に、互いに切磋琢磨していきます。

これからは春まで公式戦はなく、長く辛い冬の練習に入りますが、それを乗り越えて春までに成長して、一回り大きくなった姿を見せられたらいいと思います。春は秋の悔しさを忘れず予選を勝ち抜いて県大会に絶対に出場し、夏の大会で、千葉工業の歴代最高であるベスト8を越えます。

柔 道 部

部長 高橋 裕太 電子機械科(EM) 2年A組

僕は千葉工業高校に入学してから柔道部に入部し、日々練習に励んでいます。現在柔道部は2年生が5人、1年生が7人の合計12人です。3人の顧問の先生方の温か

い指導のもと、毎日一生懸命練習に取り組んでいます。

しかし僕が入部した頃は今と全然違いました。最初は部員の数もあまり多くはなく、資格取得の勉強で全員が揃わない日があったりと、部としての課題は少なくありませんでした。

それでも、練習経験を重ねていくうちに部の雰囲気は良くなり、去年の新人戦では千葉工業は完敗だろうと思われていた成田高校戦で、一勝を取る事が出来ました。僕はこのとき、団体戦の結果は負けでも、この一勝は千葉工業にとってとても価値のあるものだと思います。

そして四月になり、新入生が入り部員の人数も増え、活気が増し、部活の雰囲気もすごく良くなったのですが、僕には少し不安がありました。それは、自分が後輩達に抜かされてしまわないか、という事でした。練習などでは同じ学校の部員達でも、団体戦は5人しか選手になれないため、団体戦に出るためには、必然的に部内でもアピールをしていかなければなりません。

そして、3年生の先輩方が引退し、僕は部長になりました。最初は、部長は何をすればいいのか、部員をどうまとめればいいのかよく分かりませんでした。ですが練習を重ねていくうちに次第に自分がやるべき事が分かってきました。部長として率先してチームを引っ張り、チーム全体をしっかりと見渡さなければいけないんだ、と改めて実感しました。

そして、今年の新人戦で、千葉工業は男女ともベスト16入りという今までにない成績を残すことができました。そして、1月には選手権大会があります。そこでも創立80周年を迎える歴史ある千葉工業高校の看板を背負い頑張っていきたいです。



定時制バレーボール部を作って

バレーボール部 顧問 吉川 弘幸

千葉工の定時制に赴任して4年目になる。最初バレーボール部は何十年も休部状態であった。私はバレーボールが専門だったこともあり、生徒の要望でバレーボール部を復活させた。

最初は、練習にこない、ネット等準備ができない、顧問の話が聞けない…など問題点ばかりであったが、初代キャプテンとともに、一から部活動の規律と技術を作り上げた。そして2年目には全国大会に出場できた。今では、3年連続全国大会に出場させてもらっている。

現役生徒の部活動

現役生徒の部活動

今年度キャプテンの高橋は、寡黙ではあるが、共に4年間休まずに部活を続けてきた。引退の時、私と部員たちに感動のひとつときを与えてくれた。この一瞬のために私も部員たちも頑張ってきたのだと思った。

今は、4年連続全国大会出場に向けて、練習に励んでいる。

バレーボール部

部長 高橋 聖司 電子機械科(EM) 3年A組

私はバレーボール初心者でした。入部してから先輩の熱心な指導、部活後も練習に付き合ってもらい励みになりました。一年目はポジションが決まらず試合の度に足を引っ張らないようにと思うと緊張してミスが重なったりしました。しかし“ドンマイ”と声をかけてくれたり、アドバイスをくれたメンバーに助けられました。

2年生になり部長に指名された時は本当に驚き戸惑いました。口下手な自分にできるのか不安で迷いました。先輩に後押しされ、同期も一緒に頑張っていこうと温かい声をかけてくれました。

失敗もありますが信頼できるメンバーに支えられ、積極的に行動できるようになり後輩とのコミュニケーションも徐々にとれるようになりました。

何事にも挑戦する気持ちを持ち、日々努力することで自分の成長にも繋がると思います。

山岳部に入部して

部長 高野 良介 情報技術科(IE) 2年

今年の山岳部は、たくさんの活動をしてきました。

4、5月は一年生にクライミングのやり方と、テントの立て方やパッキング、米の炊き方などの登山に関する事を教えました。初めはたくさん質問して来ましたが、この前の登山ではみんな一人一人、しっかりやってくれました。

また、8月の強化合宿と夏山合宿では八ヶ岳に行きました。八ヶ岳の中でも強化合宿では権現岳に、夏山合宿では赤岳に登りました。夏山合宿の夜は雷雨でしたが、登山中はどちらも良い天気景色もとても良かったです。

最後に、私は2年間山岳部で活動をして学んだ事があります。初めの一年では集団行動の難しさと大切さ、ま



ず何をすればみんなの役に立つのか、どうすれば全体的に効率的にできるのか、を学びました。

2年目では部長になった事もあり、集団をまとめる大変さを知りました。登山に限った話ではないのですが、一人一人をまとめる為には思いやりが大事だと思います。特に登山は過酷なスポーツなので、みんなで良い登山にするにはより一層大事なものになってくると思います。

卓球部

徳増 ことの 情報技術科(IE) 2年

私が卓球部に入部して良かったと思うことは、コミュニケーション能力が鍛えられたことです。私は中学生のときは部活をしておらず、クラスメイトとしか会話をしていませんでした。しかし、卓球部に入ると、顧問の先生や先輩、後輩がいて、さまざまな立場で会話をするため、自然とコミュニケーション能力が鍛えることができました。

入部して苦労したことは、部活での基礎練習です。入部してすぐのころはとてもつらく、毎日が筋肉痛でした。しかし、だんだんと筋肉痛の頻度が減っていき、動けるようになっていくのが自分でも分かり、つらかったけど、続けて良かったと思いました。

部活をやっていると、つらいことや辞めたいと思うこともあります。それよりもっと多くの楽しさを見出すことができると思います。社会に出て壁にあたったときに、部活を続けた経験が、自分に自信を持たせてくれると思うので、後輩の皆さんも部活に励んで欲しいと思います。

弓道部

谷口 智哉 情報技術科(IE) 2年

弓道部に入部して良かったことは、先輩や他クラスの人達との信頼関係ができたことだと思います。この信頼関係ができるのは、部活動特有なことだと思います。僕はこの学校に入学したときは、周りには知っている人が誰一人いなかったの部活動に入って良かった



と思います。

そして苦労したことは、冬の練習です。僕達は室内ではなく外で活動しているためカイロなど持っていないと、すぐに手がかじかんでしまいうまく弓が引けなくなってしまいます。でも悪いことばかりではありません。冬ならではの、豚汁の会などがあるので、身も心もあたたまり、練習をまた頑張ろうという気持ちにさせてくれます。

後輩へのアドバイスは、わからないところがあれば、
どンドン先生や、僕たちに聞くこと。わからないままで
はだめなので聞こう！

全国定時制通信制柔道大会について

柴田 勇希 定時制電気科(定E) 2年
顧問 井上 純一

※試合結果

○春季定通大会

個人戦 - 65kg級優勝

団体メンバー決め一本勝ち(全国大会出場権獲得)

○全国大会

団体戦 一回戦 対山口県 3-2 勝利

二回戦 対北海道 1-4 敗退

個人戦 - 65kg級

一回戦 対群馬県 町田選手敗退

○秋季定通大会

個人戦 - 65kg級優勝

一年で全国大会に出場でき良い経験ができました。
全国大会に出場が決まった時、すごく嬉しかったです。
しかし、千葉県代表という看板を背負って出場する
と言うことで、緊張と共に身が引き締まる思いでした。同
じ千葉県代表の先輩方がいたので心強かったです。

団体戦は二回戦敗退、個人戦は一回戦敗退。この結果
や悔しさをバネにして、来年も全国大会に出場し、今年
以上の結果を残す為、「精力善用」の精神「自他共栄」の
二つの規範を大切に、日々の稽古に励みたいと思いま
す。

剣道部

部長 森川 陽介 工業化学科(C) 2年

僕は剣道部で活動をしています。僕が部活動に入部
して良かったと思ったことは剣道を続けられることで
す。

中学の頃に剣道を始めて、3年の総体で良い結果が出
せず、ここで剣道をやめたくなり、続けたいと思ったの
で高校でも剣道を続けられています。

部活動で苦労したことは部長としての仕事です。高
校生活で初めて部長という役割をすることになり、今
までに全体を引っ張っていくことが無かったので不安
でした。今でもいざという時に何をすればいいのか分
からなくなることもあります。少しずつ頑張ってい
こうと思います。

次に入ってくる後輩に向けて剣道部でも剣道じゃな
くても部活に入れば仲間も増えるし、就職にも有利に
なるので是非とも部活動に入ってほしいと思います。

コンピュータ技術研究部

部長 長濱 彪 電子機械科(EM) 3年B組

三年間で得たもの

コンピュータ技術研究部での3年間、私は様々なもの
を学び、得ることができました。

一つ目は、電子工作などの基礎的なことができたこ
とです。私は、3年間電子工作について学んできました。
設備の整った部室で先生や先輩にわかりやすく教えて
もらうことができたので、電子工作についてとても楽
しく学ぶことができました。

二つ目は、人を先導していく術です。部長の役に就い
て、人の上に立ちまとめることの大変さ、しっかりとし
た指示を出さなければまわりの人達もうまく動けなく
なってしまうなど、人をまとめていく事の重要性を改
めて認識することができました。

最後に、この部活に入部して、私は自分が好きだった
ことを学べたり、社会で役に立つようなことを学ぶこ
とができて、コンピュータ技術研究部に入部して、とて
も良かったと思っています。

吹奏楽部

部長 園部 洋子 電子機械科(EM) 3年A組

私は吹奏楽部に所属しています。中学校の時から6年
間同じ部活動を続けてきました。

私がこの部活動に入部して良かったと思うことは、
多様な価値観が身についたことです。私が高校と中学
校で特に違いがあったと思った所はこの部活動に「い
ろんな人がいる」ということです。中学校では同じ地域
に住んでいる人が同じような考えを持ち、同じような
練習をしてきました。ところが高校は違う地域の人達
が集まる。地域が違うから考え方も微妙に違ってくる。
さらに、私の部活動では人数が少なかったため、みんな
で同じ練習をするというよりは、一人一人が自分に合
った練習をする、ということが多かったです。

だから相手がどうしてこのようなやり方をするのか
を考えることがよくあり、結果「そういうやり方もある



現役生徒の部活動

のか」と自分の今までの価値観に変化をもたらしたのではないかと思います。

また、部活動で苦勞したこともあります。私は部活動で部長をしていましたが今まで大勢の前に立って何かを伝えたり指示したりすることをやったことがありませんでした。経験がないのでどうすればよいのか分からず、いきなり暗闇にほっぽり出されたような気分でした。周りの仲間にも随分と迷惑をかけたと思います。しかし、2年生の時に出了た大会で人前で何かを伝えたりするのは演奏を伝えることと同じなのではないか、ということに気づき、自分の苦手としていたことを克服することができました。

部活動をすることは大変でしたし、何度か投げ出したくなるような時もありました。でも、その困難に耐えてきたからこそ、今の自分があると思います。困難は自分を見つめ直す良い機会になるので、私は社会人になってもめげずに頑張っていきたいです。

最後になりますが、部活動に入るか迷っているあなた。是非、吹奏楽部に。人生の糧になると思います。

自動車部

部長 峠 一樹 電子機械科(EM) 3年B組



私が自動車部に入って良かったと思うことは、自動車について知識が身に付いたことや、コミュニケーションをとる大切さを学べたことです。自動車部は部員同士の仲が良く、コミュニケーションをよくとっています。また先輩方も部活動に来て、様々な話をしていた

だけ新しい知識を得ることができました。

入部当初、自動車について全く知らなかった私がエンジンの構造や仕組みを理解できるようになったのも、先輩や部員同士でのコミュニケーションをとった結果だったと思います。以上が私が自動車部に入って良かったと思うことです。

私は自動車部で部長をやらせていただきました。そこで一番苦勞したのは、自分の作業と同時に部活動全体が常に動いている状態を作ることです。部活動を行っている上で、作業が無く暇をしている人がいました。そういった人が暇にならないように作業を与えたり自動車について学ばせたりして、部員全員が常に動いている状態を作るのが大変でした。

私から後輩へのアドバイスは、楽しくなり過ぎてけじめがつかないことにならないよう気をつけるのと、少しでも前年度の大会の記録を超えられるように頑張ってください。

機械発明創作部

部長 平島 大輝 電子機械科(EM) 2年B組

○部の目標

- ・技術力の向上と、その力でロボット相撲や、ロボットアメリカンフットボールの大会で全国優勝する。

○現在の活動状況

- ・ロボット相撲が終って代替わりをし、1年生が一人での作業をできるようにする。
- ・1月末から始まるロボットアメリカンフットボールの大会に向けて機体を作る。

○入部して良かったこと

- ・旋盤やフライス盤を実習ではやらないことまでできる。
- ・機械だけではなく、回路に関する知識を教わる事ができる。
- ・自分の技術の結晶であるロボットで勝った時の愉悦。

○部活動で苦勞したこと

- ・ドリルをグラインダーで研ぐ作業。
- ・規格に合わせて設計をする作業。

○後輩へのアドバイス

- ・部活動で教わった知識や技術は授業で活かせるし、逆に授業で習うことも部活で活かせるのでしっかり受けてほしい。



現役生徒の部活動

28年度、理数工学科が設置されます

平成28年4月に、大学で高度な知識・技術を身に付け、ものづくりに携わる優れた人材を育成するため、進学に重点をおいた理数工学科が千業工業高校に設置されます。

理数工学科では、工業の科目を基本的な部分に抑え、その代わり、数学や理科、英語などの普通教科の単位数を増やしています。

また、生徒が大学に行って授業を受けたり、大学の先生を講師として招いたりする高大連携を一層進めるとともに、タブレット等を用いたICT教育の推進、予備校の授業の活用も行います。

SPHに指定されました

千業工業高校は、宇都宮工業高校とともに、文部科学省からスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)に平成27年度から3年間指定されました。柱となる5つの事業をとおして、工学的センスやタスクマネジメント能力を備えた将来の産業界を担う専門的職業人を育成します。

27年度は、外国人大学院生の力を借りて、英語での課題研究の発表に取り組みました。また、レゴロボフトの大会にも出場しました。

國馬 隆史 前校長先生 教育功労者表彰 受賞祝賀会開かる

平成26年11月4日、ホテルポートプラザ千葉にて平成26年度の教育功労者表彰が行われ、前校長の國馬隆史先生が受賞された。

この賞は本県公立学校において、学校教育の進展に寄与した人を表彰するもので、この年公立高校の校長21名が選ばれた。

これを祝し、平成27年2月5日午後、ホテルポートプラザ千葉において、祝賀会が盛大に開催された。

参加者は母校職員、P T A役員と共に同窓会本部・支部役員、一般財団千工会役員17名が出席し、國馬隆史先生の受賞をお祝いした。



(國馬前校長先生と同窓会本部・支部役員と千工会)

校長定年、教諭に再任用・國馬隆史さん 生徒と向き合う楽しさ再び 2015.05.26 朝日新聞

「素直だなあと思う子もいれば、私と『タメ口』で話す子もいる。生徒と一緒に毎日は楽しいですよ」

千葉工業高校(千葉市中央区)の校長で今春、定年退職し、市川工業高校(市川市)の教員として再任用された國馬隆史先生(60)は久しぶりの感覚を楽しむ毎日を送っている。

大学時代、青年海外協力隊に入り、専門の土木分野で国際貢献する夢を持っていた。しかし、バイクの事



故で体を壊して断念、一時は習志野市役所に就職した。しかし、職場になじめず、子供のころに芽生えた教師への思いが再燃、29歳で工業科の先生になった。

思い出深いのは文化祭でのクラス制作。パリの凱旋門のようなアーチを作ったり、「ベルリンの壁」を模したコンクリート壁を作ったり。生徒との一体感を楽しむ一方、優れた構造物を安全に作れる人材に育てるため、大規模な制作を通じて人と意思疎通を図る力を伸ばしたい。—そんな思いもあったという。

2005年に県立千葉高定時制の教頭になり、以後は管理職として教員相手の仕事が主。現場は久しぶりだ。「社会を担う子どもを育てる。こんな楽しい仕事はない。巡り巡って、学生時代に志した社会貢献に近いことを、仕事にできているなあと思います」(川見能人)

2015.05.26 朝日新聞より

第17代校長 宮越博文先生 ご逝去される



平成27年11月20日、薬石効なく69歳で永眠されました。宮越先生は、新潟県上越市の生まれで新潟県立高田工業高校、日本大学理工学部土木工学科、建設省の技官等をされた後、千葉県の教員となり茂原工業高校、葛南工業高校に勤務され、平成17年4月千葉大宮高校

から本校の第17代校長として着任されました。平成19年3月まで2年間本校の校長としてご尽力くださいました。平成18年には創立70周年記念式典を同窓会等のご支援をいただき、教員、生徒の協力により成功させました。また県の指定を受けインターシップを導入、現在も多くの企業にお世話になり実施されています。本校の発展に貢献されました。ご冥福を心からお祈りいたします。